

◆茗溪学園 SDGs 活動・取り組みレポート

1. タイトル(活動内容に対する標題)

令和 6 年度能登半島地震募金

2. 参加者、グループ名

①団体名(なければ空欄)

②学年・氏名

5 年 森田浩彰 永田多朗 藤村花穂 望月理世

3. 活動内容

①問題意識、動機(なぜその活動をおこなったのか、きっかけ)

1 月 1 日に石川県能登半島で発生したマグニチュード 7.6 の地震（令和 6 年能登半島地震）は、被災地に甚大な被害をもたらした。津波や度重なる余震による住宅被害や停電、断水が現在も続いている。地方の奥まった半島という地理的な特徴も相まって、数少ない道路が寸断され、孤立している地域もある。石川県では、1 月 12 日 14 時現在、215 人が命を落とし、28 人の安否が分かっていない。現地では懸命な救助活動が続いている。警察、消防、海上保安庁、自衛隊をはじめ、自治体や様々な協力団体、支援団体による食料や水、毛布などの生活必需品の支援が進められており、今後も継続的な支援が求められている。そこで私たちは、被災した人々への支援を目的とした募金活動を 1 月 9 日から 12 日の 4 日間にわたり実施した。この活動は、茗溪学園の JRC 同好会を中心とした生徒有志により企画・実施された。寄付されたお金は日本赤十字社に送金し、被災都道府県が設置する義援金配分委員会（9 日現在で同委員会を設置した都道府県：石川県、富山県、新潟県）を通じ、被災者の生活支援に充てられる。募金の管理や募金額の集計、送金手続き、募金結果の報告等は、顧問のユ先生の指導のもと、JRC 同好会の実行メンバーが主体となって行った。

動機

1. 令和 6 年能登半島地震による被害が拡大していることがメディアで報道されている。地震やそれに伴う津波、土砂災害等により、多くの建物が崩壊し、人的被害も発生している。現在の能登半島では交通が途絶されており、一般人は現地に入ることも物資を送ることもできない状況にある中、日本赤十字社に募金を託すことが今できる最善の方法であると考えた。さらに、JRC 同好会が中心となって行う校内の募金活動は、熱海の土砂災害、ウクライナの難民支援に続き 3 回目であり、これまでの経験を踏まえた活動が展開できると考えた。

2. 今回の募金活動は、茗溪学園の生徒に、令和 6 年能登半島地震についての現状を理解してもらい、被災地の方々に思いを寄せることも目的としている。日本では近い将来、首都直下地震や南海トラフ地震等巨大地震が起こる可能性も指摘されており、私たちひとりひとりが、巨大地震への備えを行う必要がある。被災地の方々に思いを寄せることは、当

事者意識を持つことにつながると考えた。

②問題解決のために行った内容(どのような活動・取り組みをしたのか具体的に)

令和 6 年 1 月 9 日（火）から 12 日（金）の放課後 15 時 45 分から 16 時 30 分に、中学昇降口及び高校昇降口付近の階段の前で、地震対策の啓発と募金の呼びかけを行った。中学棟では、中学生の実行メンバー約 6 人に加え、高校生の実行メンバー1～2 人で活動を行った。高校棟では高校生の実行メンバー約 5 人で活動を行った。活動期間中は、日本語、英語、フランス語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語の 7 か国語で、ポスター作成や校内放送を行い、活動を周知した。また、校内の電子掲示板でスライドを表示し、地震への備えの重要性及び地震発生時の行動について情報発信を行った。

③SDGs との関連性(どのゴールに関連する活動か)

この活動は SDG3「すべての人に健康と福祉を」のターゲット 8「全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」と関連している。能登半島地震では、多くの被災者が家や財産を失い経済的な苦境に立たされている。募金活動によって得られたお金は義援金として被災した方々に届けられ、必要なモノやサービスへのアクセスを可能にした。

また、この活動は SDG11「住み続けられるまちづくりを」のターゲット 5「2030 年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす」の達成とも関連している。募金活動を通して減災や防災に関する意識・関心を高めることができた。

④SDGs の観点から、今後どのようになってほしいと願っているか

今後も多くの方が被災地の方々に思いを寄せ、継続的に復興支援が行われることを願っている。また、被災者の方々の体験や心情を理解することで、当事者意識をもって防災や減災についての対策を進めていき、より住みやすい街に変化していくことを願っている。

4. 活動・取り組みを通じて感じたこと、学んだこと、自分が成長できたと感じること、問題点・課題などについて

【評価できる点】 これまでに JRC 同好会が中心となって行った募金活動の経験を踏まえ、迅速かつ円滑に活動を進めることができた。

(1) SNS や電子掲示板の活用、校内放送やポスター掲示などにより、分かりやすい情報発信を行うことができた。

(2) コミュニケーションを大切にしながら活動できた。

(3) 毎日活動終了後に報告会を行いメモを作成することで、メンバー間での情報共有ができた。

(4) 4 日間の活動を臨機応変に行い、報告会での反省事項を踏まえた活動を行うことができた。

【課題】

(1) 周知活動についての計画決定が遅かった。

→責任者を中心に短時間で計画を立案し、詳細を決定していくと良い。いつ、だれが、どこ

で周知活動や募金活動を行うと良いのか、詳細の決定を迅速に行う。

(2) 募金を強制しているように捉えられてしまうこともあった。

→活動の目標や寄付先についての周知活動を丁寧に行う。

5. 今後の活動予定(あれば)

6. エビデンス

活動の写真(参加者の集合写真、活動の様子がわかるものなどを数枚)、成果物(レポート、ノート、ポスター、制作物の写真など)





・広報ポスター（7 か国語）

ORGANISATEUR: CLUB DE JRC

1/9 ~ 12

**Appel aux dons
face au séisme
dans la péninsule
de Noto**

Afin d'éviter des dégâts supplémentaires,
une aide adéquate est nécessaire.

Période d'activité:
Mardi 9 & Mercredi 10: 16:00~17:00
Jeudi 11 & Vendredi 12: 17:00~17:45

DONATAIRE:
CROIX-ROUGE JAPONAISE
<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

Référence: Tokyo Shimbun

主辦單位：青年紅十字會
(茗溪JRC同好會)

● 1月9號~1月12號

**能登半島
地震捐款**

為了防止損壞增長，我們
需要足夠的支援。

活動期間：
1月9號（禮拜二）& 10號（禮拜三）：16:00~17:00
1月11號（禮拜四）& 12號（禮拜五）：17:00~17:45

捐贈對象：
日本紅十字會
<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

參照：東京新聞

● 主催：茗溪JRC同好会

1月9日~12日

**能登半島
地震募金**

これ以上被害を深刻化させないため
には十分な支援が必要不可欠です

活動期間（昇降口付近にて）
1月9日（火）~10日（水）：16:00~17:00
1月11日（木）~12日（金）：17:00~17:45

寄付先：
日本赤十字社
令和6年能登半島地震災害義援金
<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

参照：東京新聞

主办单位：青年紅十字會
(茗溪JRC同好會)

● 1月9號~1月12號

**能登半島
地震捐款**

為了防止損壞增長，我們
需要足夠的支援。

活動期間：
1月9號（禮拜二）& 10號（禮拜三）：16:00~17:00
1月11號（禮拜四）& 12號（禮拜五）：17:00~17:45

捐贈對象：
日本紅十字會
<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

參照：東京新聞

ผู้จัด: สภาเยาวชนกชาซด

● วันที่ 9 มกราคม - 12 มกราคม

**การรับบริจาคสำหรับ
เหตุการณ์แผ่นดินไหว
ที่คาบสมุทรโนโตะ**

ระยะเวลาในการรับบริจาค:
วันอังคารที่ 9 มกราคม และ วันพุธที่ 10 มกราคม :
16:00~17:00 น.
วันพฤหัสบดีที่ 11 มกราคม และ วันศุกร์ที่ 12 มกราคม :
17:00~17:45 น.

ผู้รับบริจาค:
สภาเยาวชนญี่ปุ่น
<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

参照：東京新聞

주최 : 메이케이 JRC 동아리

● 1월 9일~12일

노토 반도 지진모금

더 이상 피해를 심각화시키지 않기
위해서는 충분한 지원이 필요합니다

활동기간
1월 9일(화) ~ 10일(수) : 16:00~17:00
1월 11일(목) ~ 12일(금) : 17:00~17:45

기부금 단체: 일본적십자사
레이와6년 노토반도지진 피해의 원금
<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

출전: 도쿄 신문사

Sponsored by Meikei JRC

● 1/9~12

**NOTO
PENINSULA
DONATION**

In order to prevent further
suffering, immediate support is
needed.

Period of activity:
January 9th(Tue) & 10th(Wed): 16:00~17:00
11th(Thu) & 12th(Fri): 17:00~17:45

Donation Recipient:
JAPAN RED CROSS SOCIETY
2024 NOTO PENINSULA EARTHQUAKE
RELIEF FUND

Reference: Tokyo Shimbun
<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>



地震大国日本に迫りくる危険

1月1日 能登半島地震

マグニチュード7.6

現在も深刻な被害！



首都直下地震（発生確率70%）

推定マグニチュード7

**南海トラフ地震
（発生確率70～80%）**

推定マグニチュード8～9

**今、大きな災害が起き、被害を
受けている地域があります！
決して他人事ではありません！**

地震から身を守るために!

普段の対策:

避難生活の
ための備蓄



家具の固定
(金具やス
トッパー)

連絡手段の
確認

(重要事項!)

避難所の確認
(防災マップ
の活用)



起こった時:

戸を開けて
出口を確保
する



カーテンを
閉める

正確な情報
を得る



避難時にはブレー
カーを切り、ガス
の元栓を締める

地震から身を守るために!

普段の対策:

(マメ知識)

ローリングストック
(食材の買いだめ)

備える



段ボールをとっておく
(保温 & 防音に最適!)

買い足す



消費する



起こった時:

エレベーターで
は全ての階の
ボタンを押す!



小銭を多めに持っておく
(公衆電話などでの需要)

災害はいつ起こるかわかりません。

今こそ防災への意識を高めて生活をするときです!

一緒に未来を変えましょう。



JRC同好会